

DS-0221 汎用 FFT 解析ソフト

MI-1233 マイクロホンと MI-3110 プリアンプの単位校正の方法

DS-0221 汎用 FFT 解析ソフト

MI-1233 マイクロホンと MI-3110 プリアンプの単位校正の方法

MI-1233 マイクロホン + MI3110 プリアンプを DS-2100 シリーズデータステーションに直接接続する場合に、SC-31000 音響校正器（音圧レベル 124dB、250Hz）を使って音圧レベル dBspl に単位校正する方法を説明します。



SC-3100 音響校正器



MI-1233 マイクロホン
+
MI-3110 プリアンプ

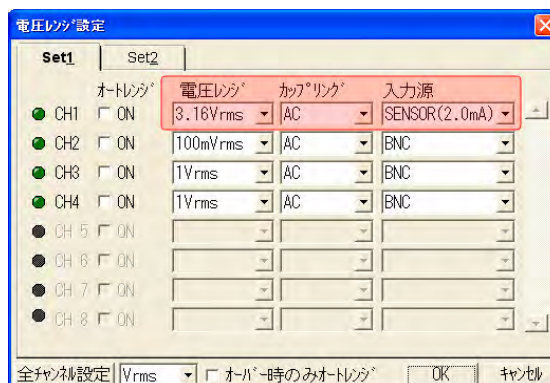


DS-2100 シリーズデータステーション
+
DS-0221 汎用 FFT 解析ソフト

操作手順

1. DS-0221 汎用 FFT 解析ソフトを起動し、ファイルメニューから、〔ファイル〕〔新規プロジェクト〕〔開く OK〕で、新しいプロジェクトを開きます。
2. ファイルメニューから、〔入力〕〔電圧レンジ設定〕を選択し、「電圧レンジ設定」ウィンドウの「set1」タブの各値を次のように設定します。設定が完了したら右下の「OK」ボタンをクリックします。

電圧レンジ	3.16Vrms
カップリング	AC
入力源	SENSOR (2.0mA) または SENSOR (4.0mA)



- SC-3100 音響校正器に MI-1233 マイクロホンをしっかり装着し、SC-3100 の電源を ON します。
- ファイルメニューから、〔入力〕 〔単位校正〕を選択し、「単位、校正」ウィンドウの「set」タブで、CH1 の各項を次のように設定します。

校正	チェック ON
単位名	spl
物理量 (EU 値)	(次の操作で自動計算され set されますのでここでの入力は不要です)
校正値の設定	EU/V
オフセット	0dB



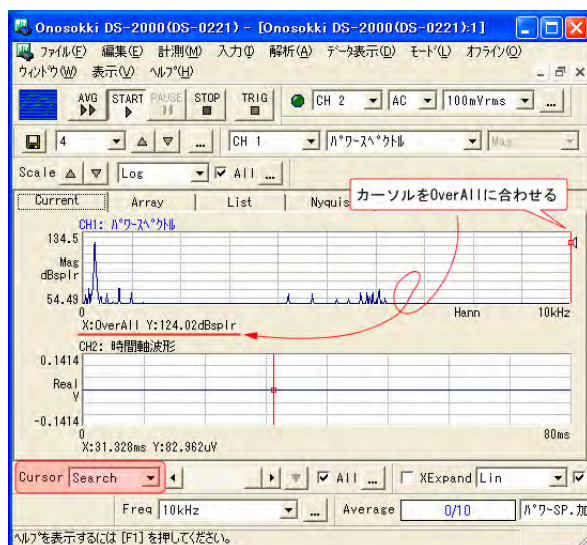
次に「EU/S.P」タブをクリックし、スライドツールにて X 軸を OverAll に合わせ、CH1 のオーバーオール値を SC-3100 音響校正器の音圧レベルである「124」dBspl とキーインします。

その下の「設定」ボタンをクリックすると、物理量 (EU 値) が計算され set されます。

「X:OverAll Y:124.00dBsplr」と表示されることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。
(この操作は SC-3100 から CAL 信号が入力されていることが必要です。)



5. ファイルメニューから、〔データ表示〕〔カーソル設定〕〔サーチモード=Search〕を選択し、カーソルを OverAll に合わせます。この時、下図のように、測定画面でも、X 軸 OverAll、Y 軸：124dB になっていること確認します。(SC-3100 の信号入力が必要です。)



6. SC-3100 音響校正器の電源を OFF し、取り外します。以上で、単位校正は完了です。
7. 測定を開始します。

以上